

強力なリーダーシップで野菜産地をけん引するトップランナー ～高い栽培技術で周年野菜専門経営を確立～

早坂 淳（新庄市）

1 受賞者の概要

ねぎ 160 a たらの芽 200 a

昭和 53 年就農。最上地域の特徴を生かした農業を実践したいと考え、昭和 60 年にたらの芽を、平成 2 年にねぎの栽培を開始した。その後、水稻からねぎ、たらの芽への転換を進め、現在の周年野菜専門経営を確立した。

最上地域におけるねぎ、たらの芽栽培の先駆者であり、試行錯誤を重ねながら最上地域に適した栽培方法の確立を図り、その技術を地域に普及させた。

広い視野で地域全体の課題を捉え、強力なリーダーシップと行動力で、人を動かし、課題を解決しながら、最上地域のねぎ及びたらの芽の産地化に大きく貢献した。



2 活動内容

(1) 周年野菜専門経営のトップランナー

作業競合の少ないねぎとたらの芽を組み合わせ、労働力のバランスの良い周年野菜専門経営を実践している。主力である夏秋ねぎは、市場ニーズの高い 8 月からの安定出荷を実践するとともに、葉ねぎを組み合わせた作型で、長期出荷体系を確立している。



(2) 高い栽培技術による高収量・高単価

長年蓄積した栽培データによるきめ細かな栽培管理により、高収量・高単価を実現し、市場から高い評価を受けている。また、小農機具等の改良で作業効率の向上を図っており、それらの工夫は地域全体に波及している。

(3) 最上地域の園芸振興に大きく貢献

生産者のリーダーとして、ねぎ及びたらの芽の産地化を推進した。特に、ねぎについては、JA 新庄もがみねぎ生産者協議会長、最上広域野菜振興協議会ねぎ部会長として「もがみねぎ」のブランド化と産地化に大きく貢献した。

3 今後の発展方向

ねぎの経営規模を維持しつつ、たらの芽の経営規模拡大を行っていく。

また、確立してきた栽培技術を広く公開し、地域農業を担う若手農業者の育成にさらに力を注いでいく。

